

令和 8 年度 名古屋市子ども会活動の振興に向けた効果検証会議

日時：令和 8 年 8 月 18 日（火）13 時 00 分～

場所：名古屋市役所西庁舎 11 階西 11A 会議室

- 1 子ども会活動の振興に向けた効果検証会議の役割等（資料 1）
- 2 本市の子ども会の現状について（資料 2）
- 3 「子ども会活動振興策の方向性」（令和 6 年 12 月策定）について（資料 3）
- 4 子ども会活動の振興に向けた施策について
 - （1）ICT 活用支援事業・講習会の実施（資料 4）
 - （2）子ども会活動ハンドブックの作成（資料 5）
 - （3）子ども会運営ナビの構築（資料 6）
 - （4）助成金申請のオンライン化（資料 7）
 - （5）子ども会活動アシストバンク事業の拡充（資料 8）
 - （6）こどもまんなかプロジェクト（資料 9）
- 5 子ども会活動の振興に向けた新たな支援策等について（資料 10）
- 6 その他

（参考 1）子ども会活動振興策の方向性

（参考 2）子ども会活動ハンドブック

効果検証会議の役割等

令和 6 年 12 月に策定した「子ども会活動振興策の方向性」に基づき実施する振興策については、定期的に目標達成に向けた進捗状況の確認を行いながら、必要な改善策を講じることとしていることから、計画目標達成に向けた施策、新たな支援策等について検討する。

1 経過・現状

○子ども会については、子育て世帯を取り巻く環境の変化などにより、全国的に会員数及び団体数が減少しており、名古屋市においても約 30 年前から一貫して減少傾向が続いており、特に、令和元年度以降は、減少傾向が顕著になっている。

○そのため、本市における子ども会活動の活性化に向けた新しい施策展開を計画的に図るため、令和 6 年 12 月に「子ども会活動振興策の方向性」を策定し、これに基づき、様々な施策を実施している。

2 なごや子ども・子育てわくわくプラン 2029 の計画目標について

	目標	現況	備考
地域子ども会への小学生加入率	40%	23.8% (R7 実績)	R5 27.8% R6 25.8%
子ども会活動をかなり負担に感じる子ども会役員の割合	17%以下	28.4% (R7 役員向け調査)	R6 35.3%
子ども会活動を楽しんでいる子どもの割合	80%以上	73.6% (R6 市民意識調査)	R9 R11 調査予定

3 委員構成について

○以下の者で、10 人程度とする。

- ・学識経験者
- ・子ども会関係者
- ・学生関係者
- ・保護者関係者
- ・小学校関係
- ・行政関係者

4 今後について

○翌年度以降も、毎年度 1 回の開催を予定し、振興策の進捗状況について確認を行っていく。

令和 7 年度末時点の地域子ども会（町内単位等の地域を基盤とした子ども会）数は 1,292 団体で、会員数は 32,742 人となっております。前年度と比較しますと、団体数で 101 団体減（-7.3%）、会員数で 3,374 人減（-9.4%）と、いずれも減少傾向にあります。

団体数は昭和 61 年（3,862 団体）、会員数は昭和 54 年（224,166 人）をピークに年々減少傾向にあります。こうした傾向は全国的な傾向であり、少子化による影響のほか、子どもや保護者の生活スタイルの変化なども背景にあると考えています。

一方で、市子ども会連合会役員や地域の子どもの会役員など関係者の方々のこれまでのご努力により、名古屋市は都市部の子ども会としては、多くの会員が所属し、活発な活動を続けていただいているという現状がございます。

（参考）地域子ども会団体数・会員数の推移

区分	地域子ども会 団体数		地域子ども会 会員数	
	団体数	対前年度増減率	会員数	対前年度増減率
	団体	%	人	%
平成 24 年度	2,382	△3.4	75,514	△4.5
平成 25 年度	2,314	△2.9	73,268	△3.0
平成 26 年度	2,258	△2.4	70,699	△3.5
平成 27 年度	2,192	△2.9	68,513	△3.1
平成 28 年度	2,130	△2.8	67,051	△2.1
平成 29 年度	2,026	△4.9	63,360	△5.5
平成 30 年度（※）	2,013	△0.6	60,770	△4.1
令和元年度	1,916	△4.8	56,994	△6.2
令和 2 年度	1,813	△5.4	53,273	△6.5
令和 3 年度	1,722	△5.0	48,276	△9.4
令和 4 年度	1,618	△6.0	43,864	△9.1
令和 5 年度	1,501	△7.2	39,860	△9.1
令和 6 年度	1,393	△7.2	36,116	△9.4
令和 7 年度	1,292	△7.3	32,742	△9.4

※地域子ども会への助成制度の変更を実施（会員数要件：10人→5人）

(参考) 政令市における地域子ども会団体数・会員数の状況※1

	会員数	小学生加入率 (R6参考)	地域子ども会 団体数
札幌	1 4, 8 1 1	12.60%	—
仙台	8, 1 0 2	12.90%	—
さいたま	1 7, 1 6 0	未把握	—
千葉	1, 4 8 6	未把握	8
川崎	1 9, 0 6 4	13.50%	2 4 7
横浜	3 4, 6 8 6	15.10%	—
相模原	6, 4 9 9	15.00%	1 2 1
新潟	4, 1 6 9	10.70%	1 6 5
静岡	8 5 0	未把握	—
浜松	1 7, 3 2 9	44.00%	2 9 7
京都※2	—	—	—
大阪	1 4, 7 0 4	未把握	3 7 0
堺	5, 5 5 1	14.00%	—
神戸	4, 6 2 9	4.60%	1 0 2
岡山	5, 5 7 1	14.60%	1 4 4
広島	2 0, 4 4 4	16.10%	5 3 1
北九州※3	3, 0 8 0	7.10%	—
福岡	1 5, 6 2 9	18.90%	—
熊本	8, 9 1 7	22.30%	—
名古屋	3 2, 7 3 3	25.80%	1, 2 9 1

※1 会員数・団体数について

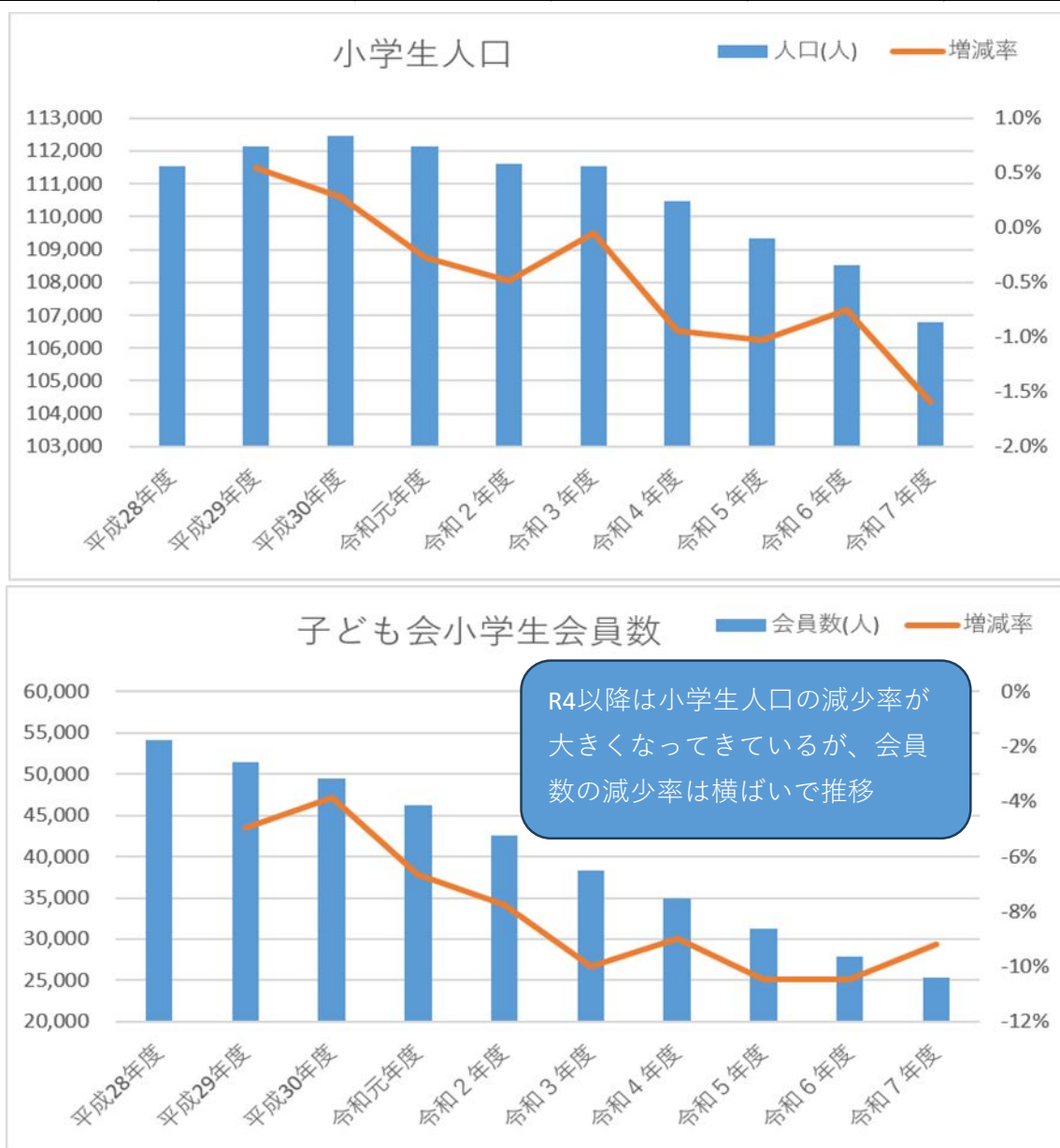
本市：R7補助金交付決定数 他都市：R7.3.31で把握している範囲の数字

※2 平成29年度に京都市子ども会育成連絡協議会が解散。事務局がないため、実情把握不可。

※3 会員数はR6.8.31時点。

(参考) 名古屋市の小学生人口と地域子ども会会員数の比較

	小学生 人口(人)	対前年度 増減率	小学生 会員数(人)	対前年度 増減率	(参考) 加入率
平成28年度	111,528		54,115		48.5%
平成29年度	112,133	0.54%	51,424	-4.97%	45.9%
平成30年度	112,452	0.28%	49,440	-3.86%	44.0%
令和元年度	112,145	-0.27%	46,151	-6.65%	41.2%
令和2年度	111,605	-0.48%	42,574	-7.75%	38.1%
令和3年度	111,544	-0.05%	38,317	-10.00%	34.4%
令和4年度	110,487	-0.95%	34,868	-9.00%	31.6%
令和5年度	109,348	-1.03%	31,215	-10.48%	28.5%
令和6年度	108,521	-0.76%	27,947	-10.47%	25.8%
令和7年度	106,794	-1.59%	25,380	-9.19%	23.8%



【参考】子ども会魅力発信各種広報

(実写動画・アニメーション動画・ICT活用リーフレット・チラシ) (R3～)

ICT講習会、活用動画 (R3～) アシストバンク事業 (R3～)

子ども会活動振興策の方向性（概要）R6. 12

1 策定の趣旨

子ども会活動は、子どもにとって、身近な地域で異年齢の子どもの交流や幅広い体験活動、地域の大人との関わりを通じて、継続的な心身両面の成長・発達につながる非常に意義のある取り組みです。

しかしながら、子ども会については、減少傾向が継続しており、特に近年は、その傾向が顕著になっているため、多くの地域の子どもの子ども会活動に参加する機会を失う状況になっています。

減少の主な要因としては、運営に携わる保護者の負担の大きさなどがあると考えられるため、今般、保護者負担の軽減を重点とした今後の子ども会活動の振興に向けた施策の方向性を策定し、方向性に基づき各種支援策を着実に進めることで、子ども会活動が子どもや保護者にとって魅力的なものとなるよう、活動の活性化を図るものです。

2 基本理念

子どもが遊び、学び、交流し、体験する機会は、子どもが生まれながらにして持つ権利であり、子どもの成長にとって非常に大切です。

このような機会を地域で提供している子ども会活動を活性化することで、子どもたちが身近な地域で異年齢の子どもや大人と交わりながら、のびのびと豊かに育つことをめざします。

また、子ども会活動が保護者にとっても、身近な地域で子どもの成長を見守りながら交流を深めることができる魅力的なものとなることをめざします。

3 基本方針**（１）保護者負担の軽減**

- ・運営に携わる保護者負担の大きさが子ども会の団体数や会員数の減少につながっていることを踏まえ、ＩＣＴツールの活用を始めとした運営の効率化を進めることで早急に負担軽減を図ります。
- ・保護者を始めとする子ども会関係者から運営の効率化や子ども会活動の活性化に向けたアイデア・実践例等を募り、発信する仕組みを作ることで、開かれた子ども会活動をめざします。
- ・子どもの健やかな育ちを社会全体で支援するため、市や町内会・自治会等の地域団体とともに、学生・ＮＰＯ法人など、多様な支え手が幅広く関わる子ども会活動をめざします。

（２）参加機会の充実

- ・子ども会の新設・再開につながる取り組みや子ども会のない地域における参加の仕組みを設けます。

（３）活動の魅力向上と効果的なＰＲの実施

- ・子どもたち自身が企画運営に関わる「子どもの手による子ども会活動」の促進などを通じ、子ども会活動の魅力向上を図ります。
- ・子ども会活動の魅力が子どもや保護者を始め、幅広く市民に届くよう、子ども会活動のＰＲを強化します。

4 基本方針に基づく子ども会活動振興策の方向性

保護者負担の軽減

(1) 運営の効率化

- ・講習会や専門家派遣によるサポートなどを通じて、ウェブ会議システムやチャットツールなどのコミュニケーションツールの活用を促進し、会議や行事の準備など、子ども会運営の効率化が進むように支援していきます。
- ・子ども会役員の不安や負担を減らすために、ICTの活用も含めた子ども会運営のマニュアルや相談事例集を作成し、動画配信などを活用して提供します。
- ・保護者を始めとする子ども会の関係者から、運営の効率化や子ども会活動を盛り上げるためのアイデア、実践例などをウェブサイト上に集積し、情報を共有するデジタルプラットフォームを整備することで、活動事例の共有を進めるとともに、寄せられた意見等について、市の今後の取り組みに反映させていきます。
- ・市の助成金の申請手続きを簡単にするとともに、過去の申請内容も確認しながら作成できるように、クラウドサービスを使って、オンラインで申請できるようにします。
- ・子ども会からの相談対応やリーダー養成などを実施している区子ども会育成者組織や学区子ども会育成者組織（以下、「区子連等」という。）の負担軽減をはかるため、会議の開催方法の見直しなど、運営を効率化する必要があることを子ども会関係者に伝えるとともに、会議のファシリテーターなどの外部の専門家による相談支援を行いながら、効率化を促進します。

(2) 多様な支え手の確保

- ・子ども会の行事を支えるために活動している、子ども会ボランティアサークルは、会員数が減少したり、コロナ禍の影響で活動の機会が減ったりするなど、以前と同じような活動を続けることが難しくなっています。ボランティアサークルの意見も聞きながら、ボランティア会員の募集や研修、交流会の開催など、活動の活性化につながる支援策を検討していきます。

保護者負担の軽減（続き）

- ・子ども会活動アシストバンク事業では、行事当日の運営補助者の派遣を始め、行事の企画、準備段階からの相談支援、ミニゲーム・活動事例の発信など、子ども会運営に関して、幅広く負担軽減につながる事業を実施しています。負担軽減策の強化を図るため、発信情報を充実するとともに、現在対象としている4区から、実施区の拡大を進めていきます。
- ・町内会や自治会などの地域団体と子ども会と一緒に活動することで、活発に活動している子ども会の事例を紹介していきます。
- ・多様な支え手の協力を得た運営につながるように、学生やNPO法人などの意見を直接聞きながら、子ども会が望む支援内容と提供できる支援内容をつなげる仕組みを検討していきます。

参加機会の充実

（１）地域の特性に応じた参加機会の充実

- ・子ども会活動が行われていない地域の子どもの参加機会を確保するため、休止していた子ども会の統合による再開事例や学区単位での新設事例など、地域の特性に応じた取り組みを紹介するとともに、子ども会の新設等を促進するため、設立に必要な手続きの助言や地域への説明をサポートする仕組みを検討していきます。
- ・子ども会に加入していない子どもや子ども会がない地域の子どもでも、子ども会活動を体験できるよう、区子連等で、地域の子どもたち全員を対象にしたイベントを実施するための支援策を検討していきます。
- ・子ども会活動が行われていない地域が増加している状況を踏まえ、従来の考えとは異なった、保護者以外の支え手に関わる新たな形で、子ども主体の子ども会活動を区などの大きな単位で実施します。

活動の魅力向上と効果的なPRの実施

(1) 活動の魅力向上

- ・現在モデル事業として実施している、子ども自身が子ども会の行事を企画・運営する取り組みについては、子どもや保護者の満足度が非常に高い。この取り組みをさらに推進するため、保護者以外の支え手に関わる新たな形で、子ども主体の子ども会活動を区などの大きな単位で実施するとともに、そのノウハウも踏まえた、研修会の開催やファシリテーターの派遣などにより、子ども主体の取り組みを地域子ども会などにも、広がっていきます。
- ・現在4区を対象としている子ども会活動アシストバンク事業では、多様なイベント企画を提供しており、子ども会ごとの異なるニーズに対応することで、活動の魅力向上につながっているため、企画内容を充実するとともに、実施区の拡大を進めることで、子ども会行事の魅力向上につなげていきます。

(2) 効果的なPRの実施

- ・子ども会活動に参加するきっかけとしては、参加経験のある子どもや保護者からの口コミが大きな影響を与えています。参加経験のない子どもや保護者にも、子ども会活動の魅力が伝わるように、SNSツールの活用方法のサポートなど、参加者による魅力発信の支援を検討します。
- ・子ども会の支え手を広げ、活性化を図るためには、幅広く、市民向けに活動の重要性や活動内容を届ける必要があります。広報誌や動画配信など、さまざまな方法で情報を発信し、市民の方々に子ども会の意義を広く伝える取り組みを進めます。

5 今後について

子ども会の振興に向けては、令和7年度から11年度を計画期間とする予定の「次期子どもに関する総合計画」において、加入率の増加、保護者負担の軽減及び参加者満足度の向上に関する具体的な目標を定めます。

また、本方向性に基づき実施する新たな支援策については、子どもや保護者に対するアンケートなどを実施することで、定期的に目標達成に向けた進捗状況の確認を行いながら、有識者を含めた施策効果の検証を実施し、必要な改善策を講じていきます。

子ども会活動は、子どもの豊かな育ちに非常に大切な取り組みであるため、今後より一層、関係機関とも連携しながら、着実に支援策を進めていくことで、活動の活性化を図ります。

子ども会活動振興策の方向性			
項目		方向性の内容	No.
保護者負担 の軽減	運営の 効率化	ICTツールの活用促進	1
		子ども会運営事務マニュアルや相談対応事例集の作成・配信	2
		子ども会運営情報の集約・発信ができるデジタルプラットフォームの整備	3
		子ども会運営助成金の申請手続きのオンライン化	4
		区子連等の運営の効率化に向けた支援	5
	多様な 支え手の 確保	子ども会ボランティアサークルに対する支援の充実	6
		子ども会活動アシストバンク事業の拡充による負担軽減の強化	7
		地域団体との連携・交流事例の発信	8
		子ども会と学生・NPO法人等との連携に向けた仕組みづくりの検討	9
参加機会 の充実	地域の特性 に応じた 参加機会 の充実	地域子ども会の新設等につながる支援	10
		区子連等における地域のすべての子どもを対象とした行事の促進	11
		新たな子ども会活動の検討	12
活動の 魅力向上と 効果的な PRの実施	活動の 魅力向上	子どもが主体となって企画・運営する子ども会活動の推進	13
		子ども会活動アシストバンク事業の拡充による魅力向上	14
	効果的な PRの実施	参加者による魅力発信の支援	15
		多様な手段による情報発信の強化	16

ICT ツールの活用促進（講習会の実施等）

1 概要

オンラインでの行事や会議、情報伝達など、ICT 活用の事例を子ども会に提案するとともに、導入を希望する子ども会への講習を行う。

2 実施内容

ア 子ども会 ICT 活用支援講習会の実施

年度	日付	受講者	内訳
R 4	11 月 23 日(水・祝)	23 名	基礎 11 名・応用 12 名
	12 月 3 日(土)	15 名	基礎 8 名・応用 7 名
	12 月 11 日(日)	15 名	基礎 9 名・応用 6 名
R 5	3 月 17 日(日)	18 名	初級編 10 名・応用編 8 名
R 6	3 月 9 日(日)	24 名	初級編 8 名・上級編 16 名
R 7	3 月 22 日(日)	12 名	1 部 Gemini 5 名・2 部 Canva 7 名

イ 子ども会 ICT 活用支援リーフレットの配布

- ・各単位子ども会、子ども会育成者組織へ配布
- ・区情報コーナーに配架、市公式ウェブサイトに掲載。

ウ 子ども会 ICT 活用支援動画の配信

- ・ICT 活用支援動画を、まるはっちゅ〜ぶ（名古屋市の Youtube チャンネル）にて配信中。
- ・ICT 活用支援リーフレットに、動画のリンク先 QR コードを掲載。

ICT ツールの活用促進（巡回支援事業の実施）

1 趣旨

令和 6 年 12 月に策定した「子ども会活動振興策の方向性」においては、減少の主な要因として、運営に携わる保護者の負担の大きさなどがあるとし、保護者負担の軽減を重点とした新たな施策の 1 つとして、ICT ツールの活用を通じた会議や行事の準備の効率化を支援することとしている。

現在、ICT ツールの活用については、実践講習会の開催や ICT ツールを紹介する動画の配信を継続実施しているが、より子ども会の運営実態に即した支援ができるように、専門家の派遣を通じた ICT 活用の巡回支援を実施するもの。

2 実施内容

ICT 活用の専門家を子ども会に派遣をして、子ども会の運営実態を踏まえて、活用に向けた助言等を行う。なお、活用に向けた定着を図るため、2 か所の子ども会に対して、1 か所あたり、訪問や打ち合わせ等を含め、計 3 日間行うものとする（訪問回数計 6 回）。

また、巡回支援を実施した際の成果等から、他の子ども会でも活用してもらうための ICT に関する活用事例集や活用動画等の整備をあわせて実施し、子ども会運営ナビを活用した情報提供を行う。

（実施内容）

- ＜ 1 日目 ＞ 子ども会の運営状況の確認や ICT 活用状況のヒアリング
 - ・事前に子ども会役員から記入してもらった相談票などをもとに、子ども会役員が負担に感じる内容について、ヒアリングを行う。
 - ・負担軽減に有効と思われる ICT ツールを 2 種類程度提案する。
- ＜ 2 日目 ＞ 専門家作成の活用提案書に基づく説明等
 - ・専門家の企画提案書をもとに、子ども会の行事の準備や会議の活用について具体的な提案を行う。
- ＜ 3 日目 ＞ 活用状況の助言又は指導
 - ・子ども会の実際の活用状況の確認や活用によって生じた課題等について、ヒアリングを行い、改善に向けた提案を行う。

3 令和 7 年度実績

区 分	内 容
巡回支援実施 団体数	2 団体【内訳】学区子ども会：1 団体、地域子ども会：1 団体
支援内容	・支援希望として、「連絡・情報共有の効率化」 ⇒コミュニケーションツール「BAND」の提案 ・支援希望として、「出欠確認・アンケート」 ⇒オンラインフォーム「Google フォーム」の提案

地域子ども会運営マニュアル（子ども会活動ハンドブック）

1 趣旨

令和6年12月に策定した「子ども会活動振興策の方向性」においては、減少の主な要因として、運営に携わる保護者の負担の大きさなどがあるとし、保護者負担の軽減を重点とした新たな施策の1つとして、子ども会運営のマニュアルや相談事例集を作成し、動画配信などを活用して、提供することとしている。

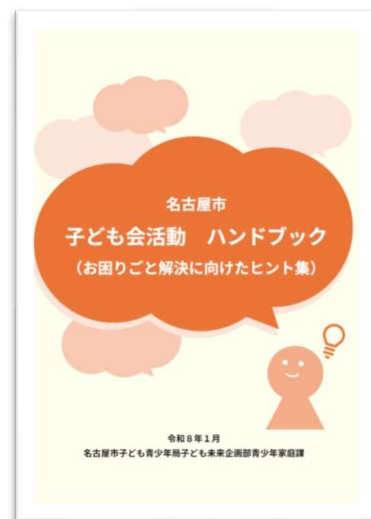
地域子ども会の役員のほとんどを会員である子どもの保護者が担っており、かつ、役員の多くが1年単位で交代し、役員交代による適切な引継ぎ等が難しいものの、子ども会活動の意義や地域子ども会を支える組織など、地域子ども会の役員が共通に把握すべき内容をまとめた資料がなく、初めて役員となる保護者が負担に感じる要因になっていることから、地域子ども会の役員の不安や負担を減らすために、地域子ども会運営マニュアル（子ども会活動ハンドブック）を令和8年1月に作成した。

2 ハンドブックの内容

初めて子ども会の役員になった方が、少しでも安心して子ども会運営に携われるようにヒントをまとめたハンドブックとして、不安や疑問に思うことがあった際に必要な情報を参考にしてもらうことを想定して作成。

（ハンドブック掲載内容）

- 1 意義・必要性：子ども会の意義・必要性を知りたい
- 2 はじめて役員になったら：次の人にうまく引き継げる不安
- 3 お金・制度：助成金の申請方法がわからない
- 4 企画・実施方法：行事の企画・実施方法がわからない
- 5 安全確保：安全面が心配
- 6 情報伝達・共有：情報の伝達・共有がうまくいかない
- 7 参加者集め：参加者・次期役員が集まらない
- 8 支援者・協力先：支援者や協力先を知りたい
- 9 その他（Q&A、問い合わせ一覧）



3 ハンドブックの周知方法

- ・ハンドブック冊子を印刷し、各子ども会へ配布
- ・市公式ウェブサイトへ掲載
- ・子ども会運営ナビへ掲載

子ども会運営プラットフォーム（子ども会運営ナビ）の運用

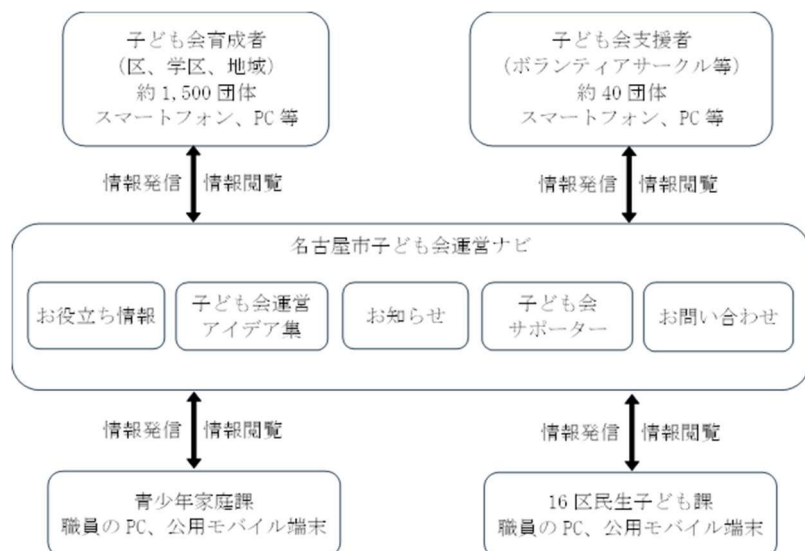
1 趣旨

令和6年12月に策定した「子ども会活動振興策の方向性」においては、減少の主な要因として、運営に携わる保護者の負担の大きさなどがあるとし、保護者負担の軽減に向け、子ども会に関する支援情報をまとめた子ども会運営プラットフォーム（名古屋市子ども会運営ナビ）を令和8年3月に構築。子ども会運営の効率化や子ども会全体の魅力の向上を図る。

2 掲載内容

区分	掲載内容
お役立ち情報	子ども会活動でICTを活用しよう、子ども会活動ハンドブック、子ども会運営助成金情報
子ども会運営アイデア集	運営の効率化事例、魅力的な行事の発信 ※それぞれ子ども会から事例を投稿してもらう
お知らせ	青少年家庭課からのお知らせ、子ども会役員向けアンケート、区からのお知らせ ※区からのお知らせは、各区より発信
子ども会サポーター	子ども会ボランティアサークル、子ども会活動アシストバンク事業
お問い合わせ	サイトに関するお問い合わせ

（イメージ図）



（サイトホーム画面）



サイト QR コード→

3 令和8年度以降の予定

子ども会運営ナビの掲載内容については、その他の支援策（ICT活用支援、学生・NPO法人等との連携等）を踏まえて、適宜、情報を充実させていく。

子ども会運営助成金オンライン申請システム

1 趣旨

令和 6 年 12 月に策定した「子ども会活動振興策の方向性」においては、減少の主な要因として、運営に携わる保護者の負担の大きさなどがあるとし、保護者負担の軽減を重点とした新たな施策の 1 つとして、子ども会運営助成金の申請手続きのオンライン化をすすめることとしている。

地域子ども会運営助成金は令和 7 年度からオンライン申請が可能。学区子ども会育成者組織運営助成金については令和 8 年度からオンライン申請が可能となった。

2 助成金申請の流れ

(1) 助成金申請（子ども会育成者、学区子ども会育成者組織）

- ・WEB フォーム作成ツール「FormBridge」を活用した専用フォームから申請（スマートフォンやパソコンから利用可能）
- ・システムに入力された内容は、翌年度以降に利用可能。

(2) 助成金交付決定（区役所子ども会担当者）

- ・クラウドサービス「kintone」を活用した業務アプリにて管理
- ・登録された情報は『申請書』として出力可能（PDF）。出力したものを紙にて申請されたものと取りまとめて、文書管理システムにて審査・決裁

(3) 助成金実績報告（子ども会育成者、学区子ども会育成者組織）

- ・『助成金実績報告』画面から、行事実績や決算額を入力して助成金の実績報告を実施。助成金申請時の入力情報が紐づけされており、申請情報を参考にしながら実績報告が可能。

(4) 精算及び交付額確定（区役所子ども会担当者）

- ・子ども会育成者から登録された実績報告情報を業務アプリ上で確認
- ・登録された情報は『事業及び決算報告書』として出力可能（PDF）。出力したものを紙にて申請されたものと取りまとめて、文書管理システムにて審査・決裁

3 令和 7 年度実績

地域子ども会数	オンライン申請数	オンライン申請率
1,292	71	5.5%

4 令和 8 年度実績（速報値）

地域子ども会数	オンライン申請数	オンライン申請率
1,189	130	10.9%
学区子ども会数	オンライン申請数	オンライン申請率
106	1	0.9%

子ども会活動アシストバンク事業の拡充

1 趣旨

子ども会活動を中心となって担う保護者の負担を軽減し、魅力ある活動を支援するために、行事の企画や運営協力などをする地域の有志・団体を募集し、希望する子ども会に紹介して支援する事業。令和6年12月に策定した「子ども会活動振興策の方向性」においては、実施区の拡大とともに、機能の強化を図ることとしている。

2 経緯

サイト QR コード→



- ・令和3年8月 事業開始（実施区：天白区）
- ・令和4年7月 実施区に名東区を追加（2区に拡充）
- ・令和5年4月 実施区に南区・守山区を追加（4区に拡充）
- ・令和7年9月 実施区に西区・中川区・港区・緑区を追加（8区に拡充）

3 相談実績の推移

（単位：件）

区分	地域子ども会数 (R8.3.31)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
天白	49	24	145	110	68	114
名東	86	(0)	121	241	267	170
南	120		(31)	15	56	70
守山	24			28	32	26
西	91			(39)	(63)	29
中川	71					36
港	64					13
緑	75					22
その他市内	712					(51)
市外等	—	(1)	(20)	(56)	(51)	(51)
計	1,292	25	317	489	537	582

※表中の（ ）については、対象地域以外からの相談実績件数

4 利用実績の推移

（単位：件）

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動アシスタントの紹介	7	42	77	88	117
イベント提供者の紹介	3	11	43	39	24
計	10	53	120	127	141

※活動アシスタント登録数 97件（個人88件 団体等9件）（R8.3.31時点）

新たな子ども会活動モデル事業（こどもまんなかプロジェクト）

1 趣旨

令和6年12月に策定した「子ども会活動振興策の方向性」に基づき、地域の子ども会活動の減少を受け、新たに企業やNP0法人等が主たる担い手となって、子ども会の特徴である子どもの主体的な取り組みを支援するモデル事業を2区（守山区・緑区）で実施するもの。

2 事業の概要

（1）事業内容

企業やNP0法人等が主たる担い手となって、行事における企画提案や当日の運営等を子ども自身が取り組むモデル事業を実施する。該当地域では、それぞれ6回のワークショップ（行事の準備、振り返り）及び2回の行事（子どもが企画したゲーム企画やスポーツイベントなどを想定）を実施する。

（2）参加者

- ・ワークショップについては、小学生の児童（定員30名）とする。
- ・行事当日については、乳幼児を含めて幅広い親子が参加できるイベントとする。
- ・事業全体の協力者として、保護者や学生ボランティア等の参加も募ることとする。

5 令和7年度の実施状況

（1）ワークショップ参加申込子ども数及び子ども会加入状況

区 分	守山区	緑区	合計
参加申込数	28名	20名	48名
子ども会加入	2名／7.1%	7名／35.0%	9名／18.8%
子ども会非加入	25名／89.3%	12名／60.0%	37名／77.1%
不明	1名／3.6%	1名／5.0%	2名／4.2%

（2）イベント参加人数

区分	守山区	緑区	合計
プレイベント	43名	36名	79名
イベント本番	88名	101名	189名

（3）イベント満足度（来場者アンケート）

区 分	守山区	緑区	合計
大変よかった	24名/77.4%	22名/57.9%	46名/66.7%
よかった	7名/22.6%	16名/42.1%	23名/33.3%
あまりよくなかった	0名/0%	0名/0%	0名/0%
よくなかった	0名/0%	0名/0%	0名/0%

(4) こどもふりかえりアンケート

区 分	すごく楽しかった	まあまあ楽しかった	合計
活動は楽しかったですか	81.5%	13.5%	94.6%
区 分	絶対参加する	できたら参加する	合計
次回も参加したいですか	48.6%	40.5%	89.2%

(5) 保護者向け事後アンケート

区 分	非常に満足している	概ね満足している	合計
満足度アンケート	31.8%	68.2%	100%
区 分	ぜひ参加したい	できれば参加したい	合計
次回も参加したいか	50.0%	40.9%	90.9%

令和7年 新たな子ども会活動モデル事業
【主催】名古屋市（子ども青少年局委託事業）

子どもたちが企画する
新しい子ども会
プロジェクト

守山区
こどもまんなかプロジェクト

子ども企画 イベント

イベントの企画から運営まで、子どもたちが行う
子どもたちが主体のイベントです✨

子どもから大人まで、どなたでも参加可能！是非あそびに来てください！

2 / 8 日
14:00～15:15

📍 会場

志段味地区会館 体育室

名古屋市守山区志段味1丁目1401

○申し込み不要
○参加費無料

本事業は、新しい子ども会活動のモデル事業として
名古屋市の緑区と守山区でそれぞれ実施しています。
イベントの企画・運営・ふりかえりまでを、7月～3月にわたり
全8回で実施する子ども主体のプロジェクトです。

子どもブース予定

- ・宝物探しゲーム
- ・魚釣りゲーム
- ・射的
- ・塗り絵
- ・鬼ごっこ／けいどろ
- ・千本引き
- ・くじ引き
- ・アクセサリ作りワークショップ
- ・レジンワークショップ
- ・スライムワークショップ

子どもたちが
考えて準備してきた
ブースです！



これまでの
企画の様子は
コチラから↓



NAGOYA.KODOMOMANNAKA

※ブース内容は変更となる可能性があります。
※景品はなくなり次第終了となります。
※80名程度の先着となります。

[運営・お問い合わせ]

・株式会社EDUCAMP
・さくらいろプロジェクト
info@educamp.jp

令和7年 新たな子ども会活動モデル事業
【主催】名古屋市（子ども青少年局委託事業）

子どもたちが企画する
新しい子ども会
プロジェクト

緑区

子どもまんなかプロジェクト

子ども企画 イベント

イベントの企画から運営まで、子どもたちが行う
子どもたちが主体のイベントです✨

子どもから大人まで、どなたでも参加可能！是非あそびに来てください！

2/15日
14:00～15:15

📍 会場

徳重地区会館 体育室

名古屋市緑区元徳重1丁目401番地
※「徳重駅」下車出口1より徒歩5分

○申し込み不要
○参加費無料

本事業は、新しい子ども会活動のモデル事業として
名古屋市の緑区と守山区でそれぞれ実施しています。
イベントの企画・運営・ふりかえりまでを、8月～3月にわたり
全8回で実施する子ども主体のプロジェクトです。

子どもブース予定

- ・お菓子すくい
- ・お化け屋敷
- ・ビンゴ大会
- ・千本くじ
- ・おみくじ



子どもたちが
考えて準備をしてきた
ブースです！



これまでの
企画の様子は
コチラから↓



NAGOYA.KODOMOMANNAKA

※ブース内容は変更となる可能性があります。
※景品はなくなり次第終了となります。
※80名程度の先着となります。

[運営・お問い合わせ]
・株式会社EDUCAMP
・さくらいろプロジェクト
info@educamp.jp

子ども会活動振興策の方向性				
項目		方向性の内容	No.	施策
保護者負担 の軽減	運営の 効率化	ICTツールの活用促進	1	講習会・巡回支援
		子ども会運営事務マニュアルや相談対応事例集の作成・配信	2	子ども会活動ハンドブック
		子ども会運営情報の集約・発信ができるデジタルプラットフォームの整備	3	子ども会運営ナビ
		子ども会運営助成金の申請手続きのオンライン化	4	オンライン申請
		区子連等の運営の効率化に向けた支援	5	令和9年度以降実施
	多様な 支え手の 確保	子ども会ボランティアサークルに対する支援の充実	6	アシストバンク
		子ども会活動アシストバンク事業の拡充による負担軽減の強化	7	アシストバンクの拡充
		地域団体との連携・交流事例の発信	8	子ども会事例発信及び参加者による魅力発信事業
		子ども会と学生・NPO法人等との連携に向けた仕組みづくりの検討	9	大学・学生及びNPO法人に向けた子ども会との連携にかかる調査
参加機会 の充実	地域の特性 に応じた 参加機会 の充実	地域子ども会の新設等につながる支援	10	令和9年度以降実施
		区子連等における地域のすべての子どもを対象とした行事の促進	11	令和9年度以降実施
		新たな子ども会活動の検討	12	こどもまんなかプロジェクト
活動の 魅力向上と 効果的な PRの実施	活動の 魅力向上	子どもが主体となって企画・運営する子ども会活動の推進	13	こどもまんなかプロジェクト
		子ども会活動アシストバンク事業の拡充による魅力向上	14	アシストバンクの拡充
	効果的な PRの実施	参加者による魅力発信の支援	15	子ども会事例発信及び参加者による魅力発信事業
		多様な手段による情報発信の強化	16	令和9年度以降実施

【子ども会事例発信及び参加者による魅力発信事業】

- ・地域団体と子ども会が一緒に活動している事例や魅力的な行事を実施している事例等を取材し、子ども会運営ナビ等にて発信
- ・子ども会を取材した際に、SNSのアカウントの作成から使い方や効果的な発信方法、写真編集のテクニック等をレクチャーし、取材した子ども会が最初の動画等を発信するまでの支援をする

【大学・学生及びNPO法人に向けた子ども会との連携にかかる調査】

- ・子ども会と学生・NPO法人等との連携に向けた仕組みづくりを検討するための基礎調査として、大学・学生やNPO法人に対し、子ども会活動に対する認識や連携の可能性、連携に向けた課題等を調査し、新たな仕組みや施策の検討を行う